

2021年4月以降提出分より押印不要

扶

従たる給与につ
いての扶養控除
等申告書の提出
(提出している場合
には、○印を付け
てください。)

土台1-1-1

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつあなたが障害者、寡婦、ひとり親又は勤労学生に該当し、以下の特例に記入する必要はありません。

点線内は必須項目。
「世帯主の氏名」「あなたとの続柄」「配偶者の有無」の記入忘れに、特に注意。

【重要】住所は住民票住所を記載

障害者又は勤労学生の内容(この欄の記載に当たっては、表面の「2 記載についてのご注意」の項をお読みください。)	異動月日及び事由

(注)1 源泉控除対象配偶者とは、所得者(令和3年中の所得の見積額が900万円以下の人)に限り、(と生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。))で、令和3年中の所得の見積額が95万円以下の人をいいます。
 同一生計配偶者とは、所得者と生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。))で、令和3年中の所得の見積額が48万円以下の人をいいます。

「障害者」または「勤労学生」にチェックありの場合、右側の「障害者又は勤労学生の内容」への記入を忘れずに。（裏面の注意事項をよく確認すること）

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を經

筑波大学以外の事業所へ本書類を提出する(他の事業所にて甲欄で所得税が源泉徴収され、年末調整が行われる)場合は、氏名欄(「あなたの氏名」)のみ記入し、書類右上の余白に「他の事業所へ提出」と記入すること。

◎この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
 ◎この申告書に必要があり
 ◎この申告書に
 ◎この申告書

記載

控除対象配偶者 障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する
 控除対象配偶者 障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する
 控除対象配偶者 障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する

以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。
 当たっては、裏面の「1 申告についてのご注意」等をお読みください。